

交通事業者ヒアリング結果のまとめ

■町コミュニティバスルート案について

○NCバス

- ・転回場について、基本的にスイッチバックは望ましくない。道路を走行して転回するか、転回のための専用スペースを設ける必要がある。
- ・福貴畑集落内を走行する区間のうち、1箇所道路勾配が急な区間があり、バス走行が可能かどうか、検証が必要である。
- ・バイパスルートが東山駅まで延伸したとしても、NCバスへの影響は小さいと考えられる。
- ・西山間ルートのフリー乗降区間については、ある程度集落の位置が固まっており、ある程度乗車・降車場所が限定されるため、フリー乗降区間とするよりもバス停を設定した方がよいと考える。(その方が警察との協議もスムーズである。またフリー乗降区間についてはダイヤが記載できないため、利用者にとっては利用しづらくなる)

○近鉄電車

- ・バイパスルートの東山駅までの延伸については、現時点では何とも言えない。実証運行で検証していくことも一つの方法である。

○竜田タクシー

- ・コミュニティバスの路線の充実、タクシーにとっては脅威であるが、コミュニティバスではカバーできない曜日、時間帯、エリアについてはタクシー利用が効果的な部分があると思うので、そのような場面での連携ができればと考える。

■連携計画メニューについて

○NCバス

- ・サービスレベル維持のためにも、利用者数を増やす方策を考えることが課題ととらえている。
- ・各種施策の実施に関しては、平群町、住民、交通事業者の3者がそれぞれ費用を負担する必要がある。
- ・情報誌の発行に関しては、1年に1回ダイヤ変更があるため、更新が大変である。簡単な広報チラシ等の作成がよいと思う。
- ・お得な乗車券については、紙式での導入が考えられる。(ICカードを利用した割引設定は、システムの変更費用が多くなるため、実現は難しい)
- ・乗り継ぎ料金の設定については、事前に協定を結ぶなど、いろいろな取り決めを行う必要がある。

○近鉄電車

- ・運行情報の提供や、イベントの実施の協力は可能である。
- ・お得な乗車券、乗り継ぎ料金の設定など費用負担を伴うものについては、実施は難しい。
- ・駅における案内サインの設置場所提供に関しては、具体的な内容が明らかになった時点で調整したい。

○竜田タクシー

- ・タクシーについては、奈良県により料金体系が決められているため、料金を変更することはできない（お得な乗車券等の導入は不可）。
- ・バス停などにもタクシーの電話番号を書いたシール等を貼らせてもらえればと考えている。
- ・子育てタクシーを 11/1 より運行しており、連携計画への活用を考えてもらいたい。

以 上